

EMERGENCY REPORT SYSTEM TERMINAL EQUIPMENT AND EMERGENCY REPORT SYSTEM

Patent Number: JP2000222664
Publication date: 2000-08-11
Inventor(s): YOSHIOKA KENJI; NAKAMA YASUTOSHI
Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Requested Patent: ☐ JP2000222664
Application Number: JP19990022337 19990129
Priority Number(s):
IPC Classification: G08B25/08
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To inform a user of that a processing is precisely executed at the time of emergency report processing by providing a report processing display means such as indicator illumination, beep tone and synthetic tone.

SOLUTION: A control part 12 recognizes that an emergency report request is given by an operation signal from an emergency report transmission button 3, outputs a signal showing that an emergency report processing is started to an emergency report processing means 11, outputs a signal requesting present position information to a position information acquirement processing part 14 and inputs data on position information. The telephone numbers of police and an emergency report center are obtained from a storage part 15 and the transmission request of telephone is given to the emergency report processing means 11 by using the telephone number. A report processing display means 7 is constituted of an illumination means such as LED and a switching transistor TR. The control part 12 outputs the illumination control signal of LED at the time of the emergency report processing. The LED is lighted or flickered through an LED illumination control circuit or the operation pattern is changed and it is illuminated.

Data supplied from the esp@cenet database - l2

This document discloses art the present invention is based on.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-222664

(P2000-222664A)

(43) 公開日 平成12年8月11日 (2000.8.11)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

テーマコード (参考)

G 0 8 B 25/08

G 0 8 B 25/08

Z 5 C 0 8 7

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平11-22337

(22) 出願日 平成11年1月29日 (1999.1.29)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 吉 岡 健 司

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1

号 松下通信工業株式会社内

(72) 発明者 中 間 保 利

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1

号 松下通信工業株式会社内

(74) 代理人 100082692

弁理士 蔵合 正博

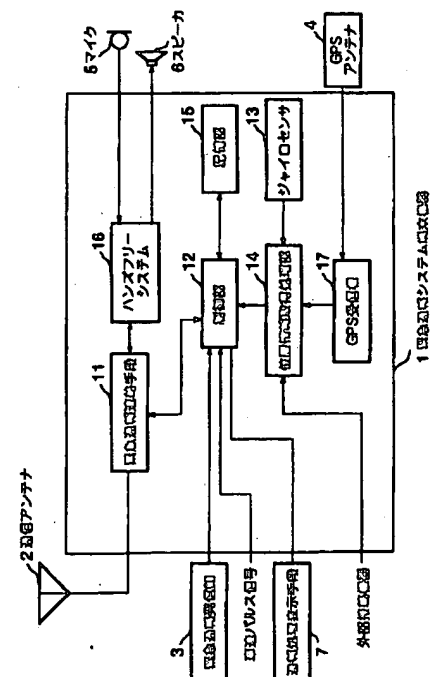
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 緊急通報システム端末機器および緊急通報システム

(57) 【要約】

【課題】 車両に搭載されて、緊急事態発生時に緊急通報発信釦を押下することによりセンターに対し緊急通報発信を行う緊急通報システム端末機器において、緊急通報発信釦が押下されて緊急通報連絡処理を実行する際に、緊急通報連絡処理が正常に実行されているかどうか利用者には分からない。

【解決手段】 緊急通報発信釦3の押下などの緊急通報発信時からデータ通信処理、音声通話処理などの緊急通報連絡処理時に、緊急通報連絡状態であることをインジケータ照明、ビープ音、合成音声などにより利用者に知らせる通報処理表示手段7を備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 車両に搭載されて、緊急事態発生時に緊急通報発信釦を押下することによりセンターに対し緊急通報発信を行う緊急通報システム端末機器において、緊急通報発信釦が押下されて緊急通報連絡処理を実行する際に、緊急通報連絡処理中であることを利用者に光およびまたは音により知らせる通報処理表示手段を備えた緊急通報システム端末機器。

【請求項2】 通報処理表示手段が、緊急通報連絡処理中であることをインジケータ照明により利用者に知らせることを特徴とする請求項1記載の緊急通報システム端末機器。

【請求項3】 通報処理表示手段が、緊急通報連絡処理中であることをビープ音により利用者に知らせることを特徴とする請求項1記載の緊急通報システム端末機器。

【請求項4】 通報処理表示手段が、緊急通報連絡処理中であることを合成音声により利用者に知らせることを特徴とする請求項1記載の緊急通報システム端末機器。

【請求項5】 通報処理表示手段が、ビープ音または合成音声の出力手段として、緊急通報連絡時の音声通話に用いるスピーカを併用することを特徴とする請求項3または4記載の緊急通報システム端末機器。

【請求項6】 通報処理表示手段が、ビープ音または合成音声の出力手段として、同じ車両に搭載されているオーディオスピーカを併用することを特徴とする請求項3または4記載の緊急通報システム端末機器。

【請求項7】 請求項1から6のいずれかに記載の緊急通報システム端末機器と、緊急通報システムを統括して、前記緊急通報システム端末機器からの緊急通報発信信号を受信して緊急出動を発動するセンターとを含む緊急通報システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、車両に搭載されて、交通事故、急病などの緊急時に、緊急通報発信釦を押下して、警察、緊急通報センターなどに現在の車両の位置情報、登録車両などのデータを送信する緊急通報システム端末機器および緊急通報システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、自動車などの車両に搭載されて、警察、緊急通報センターなどの前記緊急通報システムを管轄するセンターに通信事業者の基地局などを經由して電話発信処理を行う緊急通報発信釦を備えた緊急通報システム端末機器が知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の緊急通報システム端末機器は、緊急通報発信釦押下などの緊急通報連絡処理開始からデータ通信処理を経て、警察、緊急通報センターのオペレータとの会話による音声通話に移行するまでの間、緊急通報連絡処理が開始され

ているか、もしくは正常に電話回線などの通信回線が接続し、正常にデータ通信が行われているかが利用者には伝達されないため、交通事故、急病などの緊急時に、利用者が緊急通報処理を必要と判断し、緊急通報連絡処理を実行した場合、緊急通報連絡処理が正しく行われているかどうか不安になるという課題があった。

【0004】本発明は、このような従来の技術における課題を解決するものであり、緊急通報連絡処理時に、緊急通報連絡処理が正しく行われていることを利用者に知らせることのできる緊急通報システム端末機器および緊急通報システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明の緊急通報システム端末機器は、緊急通報発信釦押下などの緊急通報発信時からデータ通信処理、音声通話処理などの緊急通報連絡処理時に、緊急通報が正常に行われていることを利用者に知らせるためのインジケータ照明、ビープ音、合成音声などの通報処理表示手段を備えたものである。これにより、利用者に緊急通報連絡処理状態であることを正しく伝達することができ、利用者の不安を取り除くことができる。

【0006】

【発明の実施の形態】本発明の請求項1に記載の発明は、車両に搭載されて、緊急事態発生時に緊急通報発信釦を押下することによりセンターに対し緊急通報発信を行う緊急通報システム端末機器において、緊急通報発信釦が押下されて緊急通報連絡処理を実行する際に、緊急通報連絡処理中であることを利用者に光およびまたは音により知らせる通報処理表示手段を備えた緊急通報システム端末機器であり、緊急通報連絡処理を実行していることを利用者に知らせることができるという作用を有する。

【0007】本発明の請求項2に記載の発明は、通報処理表示手段が、緊急通報連絡処理中であることをインジケータ照明により利用者に知らせることを特徴とする請求項1記載の緊急通報システム端末機器であり、LEDなどの照明手段の点灯、点滅処理により、緊急通報連絡処理を実行していることを明確に利用者に知らせることができるという作用を有する。

【0008】本発明の請求項3に記載の発明は、通報処理表示手段が、緊急通報連絡処理中であることをビープ音により利用者に知らせることを特徴とする請求項1記載の緊急通報システム端末機器であり、ブザーやスピーカからのビープ音により、緊急通報連絡処理を実行していることを明確に利用者に知らせることができるという作用を有する。

【0009】本発明の請求項4に記載の発明は、通報処理表示手段が、緊急通報連絡処理中であることを合成音声により利用者に知らせることを特徴とする請求項1記載の緊急通報システム端末機器であり、音声合成による

案内メッセージにより、緊急通報連絡処理を実行していることを明確に利用者に知らせることができるという作用を有する。

【0010】本発明の請求項5に記載の発明は、通報処理表示手段が、ビープ音または合成音声の出力手段として、緊急通報連絡時の音声通話に用いるスピーカを併用することを特徴とする請求項3または4記載の緊急通報システム端末機器であり、部品点数を削減できるという作用を有する。

【0011】本発明の請求項6に記載の発明は、通報処理表示手段が、ビープ音または合成音声の出力手段として、同じ車両に搭載されているオーディオスピーカを併用することを特徴とする請求項3または4記載の緊急通報システム端末機器であり、部品点数を削減できるという作用を有する。

【0012】本発明の請求項7に記載の発明は、請求項1から6のいずれかに記載の緊急通報システム端末機器と、緊急通報システムを統括して、前記緊急通報システム端末機器からの緊急通報発信信号を受信して緊急出動を発動するセンターとを含む緊急通報システムであり、利用者の不安を考慮した信頼性の高いシステムを構築できるという作用を有する。

【0013】以下、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

(実施の形態1) 図1は本発明の第1の実施の形態における緊急通報システム端末機器の構成を示すブロック図である。図1において、1は緊急通報システム端末機器であり、車両に搭載されて、交通事故、急病などの緊急時に、警察、緊急通報センターなどに、現在の車両の位置情報、登録車両などのデータを送信して、車両緊急出動を要請する機能を有する。2は通信アンテナであり、緊急通報処理伝達手段11からの発信信号を通信事業者の基地局に発信する処理を行うと共に、通信事業者からの受信信号を緊急通報処理伝達手段11に出力する処理を行う。3は緊急通報発信鈕であり、利用者が、交通事故、急病などの緊急時に押下し、発信処理を開始するための操作信号を生成する。4はGPSアンテナであり、GPS衛星からのデータを受信する。5はマイクであり、ハンズフリー通話を行う際に、緊急通報システム端末機器1を搭載する車両に乗車する利用者の送信音声信号を入力する。6はスピーカであり、ハンズフリー通話を行う際に、警察、緊急通報センターなどからの受信音声信号の鳴音を行う。7は通報処理表示手段であり、制御部12より緊急通報連絡処理を開始する信号を入力した場合、光およびまたは音により利用者に緊急通報連絡処理を実行していることを知らせる処理を行う。

【0014】緊急通報システム端末機器1において、11は緊急通報連絡手段であり、制御部12からの発信要求信号に対し、制御部12から出力した電話番号により、通信事業者の基地局などを経由してその電話番号に

該当する通話相手に電話発信処理を開始すると共に、通話相手からの発信応答、もしくは通話中信号などの通話中に移行する信号を受信した場合、通話状態に移行したことを認識し、音声通話制御、もしくはデータ通信制御に移行すると共に、通話中に移行したことを知らせる信号を制御部12に出力し、さらに、制御部12から入力した車両の進行方向、向きなどの位置情報データを、通信事業者の基地局などを経由して当該電話番号に対応する通話相手である警察、緊急通報センターなどに発信すると共に、警察、緊急通報センターなどと、緊急通報システム端末機器1を搭載する車両に乗車する利用者との間で音声通話を行うことを可能とする自動車電話などの緊急通報連絡手段である。

【0015】12は制御部であり、緊急通報発信鈕3からの操作信号などにより緊急通報要求があったことを認識し、緊急通報処理を開始するために、緊急通報連絡手段11に緊急通報連絡処理を開始したことを示す信号を出力し、さらに、位置情報取得処理部14に現在の位置情報を要求する信号を出力すると共に、位置情報取得処理部14より、位置情報などのデータを入力し、さらに、記憶部15から、警察、緊急通報センターなどの電話番号を取得すると共に、その電話番号を用いて緊急通報連絡手段11に電話の発信要求を行い、さらに、緊急通報連絡手段11からその電話番号に該当する通話相手からの発信応答、もしくは通話中信号などの通話中に移行する信号を受信した場合、通話状態に移行したと認識し、位置情報取得処理部14から入手した車両の進行方向、向きなどの情報、および位置情報などのデータを、通信事業者の基地局などを経由して当該電話番号に対応する通話相手である警察、緊急通報センターなどに発信するための信号を緊急通報連絡手段11に出力する処理を行う。

【0016】13はジャイロセンサであり、車両の進行方向、向きなどの情報を生成する。14は位置情報取得処理部であり、ジャイロセンサ13からのデータを入力すると共に、GPS受信機17がGPSアンテナ4から受信したデータ、車輪の回転数に応じて出力される車速信号データなどにより位置情報を生成し、生成した位置情報などのデータを制御部12からのデータ要求により制御部12に出力する処理を行う。

【0017】15は記憶部であり、緊急通報システム端末機器1内部に有する、警察、緊急通報センターなどの電話番号、および緊急通報システム端末機器1を搭載する車両の登録ナンバー、および登録者などの情報を格納すると共に、制御部12からの要求信号により、該当する警察、緊急通報センターなどの電話番号、および緊急通報システム端末機器1を搭載する車両の登録ナンバー、および登録者などの情報を出力する処理を行う。16はハンズフリーシステムであり、警察、緊急通報センターなどと、緊急通報システム端末機器1を搭載する車

両に乗車する利用者との間でハンズフリー通話を行うためにエコーキャンセル機能、ハウリング防止機能などの機能を有する。17はGPS受信機であり、GPSアンテナ4から入力したデータより、位置情報などのデータを位置情報取得処理部14に出力する処理を行う。

【0018】通報処理表示手段7は、例えば図2に示すように、LEDなどの照明手段とスイッチングトランジスタTRにより構成されており、制御部12は、緊急通報連絡処理時に、LEDの照明制御信号を出力することにより、LED照明制御回路を通じてLEDを点灯したり、点滅したり、またその動作パターンを変化させて照明する。LEDは、緊急通報発信部3の中に収納してもよく、車両の速度計などの計器類が搭載されているインダッシュパネルに収納してもよい。

【0019】また、通報処理表示手段7は、図3に示すように、スピーカSPおよびスピーカアンプAMPなどの音声出力手段により構成されており、緊急通報連絡処理時に、制御部12より矩形波信号などのスピーカSPを鳴音するための制御信号を出力することにより、ビープ音またはその動作パターンを変化させたビープ音を発生させる。なお、スピーカSPの代わりにブザーを用いても実現可能である。

【0020】また、通報処理表示手段7は、図4に示すように、スピーカSPおよびスピーカアンプAMPなどの音声出力手段により構成されており、緊急通報システム端末機器1には案内音声などを合成するDSPなどの音声生成回路18を備え、制御部12は音声生成回路18に案内音声を生成する指示を行うことにより、音声生成回路18は案内音声を生成し、スピーカアンプAMPおよびスピーカSPを通じて案内メッセージなどの案内音声を出力する。

【0021】また、通報処理表示手段7は、図5に示すように、LEDなどの照明手段およびスイッチングトランジスタTRと、スピーカSPおよびスピーカアンプAMPなどの音声出力手段により構成されており、制御部12は、緊急通報連絡処理時に、LEDの照明制御信号を出力することにより、LED照明制御回路を通じてLEDを点灯したり、点滅したり、またその動作パターンを変化させて照明するとともに、緊急通報連絡処理時に、制御部12より矩形波信号などのスピーカSPを鳴音するための制御信号を出力することにより、ビープ音またはその動作パターンを変化させたビープ音を発生させる。なお、スピーカSPの代わりにブザーを用いても実現可能である。

【0022】次に、本実施の形態1の動作について説明する。図1において、緊急通報システム端末機器1において、緊急通報連絡処理以外の通常時、位置情報取得処理部14は、定期的に経度、緯度などの位置情報を生成するナビゲーションなどの外部機器から位置情報を入力する、もしくは車両の進行方向、向きなどの情報を生成

するジャイロセンサ13からのデータを入力すると共に、GPS受信機17がGPSアンテナ4より受信したデータ、および車輪が回転した回数に応じ出力した車速パルス信号データなどにより位置情報を生成する処理を行う。一方、交通事故、急病などの緊急時、利用者は緊急通報発信部3を押下する。緊急通報発信部3は、利用者の押下操作により、押下されたことを示す操作信号を緊急通報システム端末機器1の内部に有する制御部12に出力する。制御部12は、緊急通報発信部3からの操作信号により緊急通報要求があったことを認識し、緊急通報処理を開始する。

【0023】制御部12は、緊急通報連絡中であることを利用者に知らせる通報処理表示手段7に、緊急通報連絡時であることを知らせる信号を出力すると共に、位置情報取得処理部14に現在の位置情報を要求する信号を出力する。通報処理表示手段7は、緊急通報連絡時であることを知らせる信号入力し、利用者に音声、インジケータ照明などにより緊急通報発信中であることを知らせる。また、位置情報取得処理部14は、ナビゲーションなどの位置情報を生成する外部機器から入力した位置情報、もしくは、ジャイロセンサ13から入力した車両の進行方向、向きなどのデータと、GPS受信機17がGPSアンテナ4から受信したデータ、車速パルス信号データなどにより生成した位置情報などのデータを制御部12に出力する。

【0024】制御部12は、記憶部15から、警察、緊急通報センターの電話番号を取得すると共に、その電話番号を用いて緊急通報連絡手段11に電話発信などの発信要求を行う。緊急通報連絡手段11は、通信アンテナ2を用いて、通信事業者の基地局などを經由して、その電話番号に該当する通話相手に電話発信処理を開始する。緊急通報連絡手段11は、通話相手からの発信応答、もしくは通話中信号などの通話中に移行する信号を受信した場合、通話状態に移行したと認識し、音声通話制御、もしくはデータ通信制御に移行すると共に、通話中に移行したことを知らせる信号を、制御部12に出力する。制御部12は、通話に成功したと判断し、位置情報取得処理部14から入手した位置情報などのデータを、通信事業者の基地局などを經由して当該電話番号に対応する通話相手である警察、緊急通報センターなどに発信する処理を行う。さらに、位置情報などのデータを警察、緊急通報センターなどに転送するデータ通信処理を終了した場合、音声通話に移行する。

【0025】音声通話に移行する場合、緊急通報連絡手段11からの受信音声信号はハンズフリーシステム16によりエコーキャンセルなどの処理を行いスピーカ6に出力する。スピーカ6はハンズフリーシステム16からの受信音声信号を鳴音する処理を行う。さらにマイク5から入力した送信音声信号は、ハンズフリーシステム16によりエコーキャンセルなどの処理を行い、緊急通報

連絡手段11に出力される。音声通話時は、緊急通報システム端末機器1が搭載する車両に乗車する利用者と、警察、緊急通報センターのオペレーターの間で音声通話を行い、事故状況などの報告を音声により実行する。

【0026】(実施の形態2)図6は本発明の第2の実施の形態における緊急通報システム端末機器の構成を示し、図1に示した第1の実施の形態における通報処理表示手段7の出力手段として、緊急通報連絡時の音声通話に用いるハンズフリー用のスピーカ6を兼用するとともに、緊急通報システム端末機器1に音声切替回路19を設けたものである。音声切替回路19は、緊急通報連絡処理を実行していることを利用者に知らせる際には、制御部12からの鳴音制御信号によりビープ音をスピーカ6から出力し、ハンズフリー通話を行う際には、ハンズフリーシステム16からの音声信号によりスピーカ6から音声を出力するように、切り替え処理を行う。

【0027】(実施の形態3)図7は本発明の第3の実施の形態における緊急通報システム端末機器の構成を示し、図1に示した第1の実施の形態における通報処理表示手段7の出力手段としてのスピーカSPを、オーディオ鳴音用のスピーカとして兼用するとともに、緊急通報システム端末機器1に音声切替回路20を設けたものである。音声切替回路20は、緊急通報連絡処理を実行していることを利用者に知らせる際には、制御部12からの鳴音制御信号によりビープ音をスピーカSPから出力し、オーディオを鳴音させる際には、オーディオ機器からのオーディオ信号によりスピーカSPを鳴音させるように、切り替え処理を行う。

【0028】上記各実施の形態において、緊急通報連絡処理時に通報処理表示手段7におけるインジケータ照明、ビープ音、合成音声の全て、またはいずれかの組み合わせ、またはいずれか1つを動作させるタイミングは、以下の通りである。

- 緊急通報発信釦3の押下と同時。
- 緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報連絡処理を開始する時。
- 緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報センターにダイヤル発信する時。
- 緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報センターに通信回線が接続した時。
- 緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報センターに位置情報などのデータを転送する時。
- 緊急通報発信釦3の押下から音声通話を実行するまでの間。
- 緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報連絡処理を開始してから音声通話を実行するまでの間。
- 緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報センターにダイヤル発信してから音声通話を実行するまでの間。
- 緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報センターに通信回線が接続してから音声通話を実行するまでの間。

j. 緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報センターに位置情報などのデータ転送を開始してから音声通話を実行するまでの間。

【0029】また、通報処理表示手段7を動作させるタイミングは、次のように変更することもできる。

k. 緊急通報発信釦3の押下から音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間、または緊急通報発信釦3押下後の緊急通報連絡処理を開始してから音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間は、インジケータ照明により利用者に知らせ、緊急通報発信釦3の押下から音声通話を実行するまでの間は、ビープ音、合成音声により利用者に知らせる。

l. 緊急通報発信釦3の押下から音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間、または緊急通報発信釦3押下後の緊急通報連絡処理を開始してから音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間は、インジケータ照明により利用者に知らせ、緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報連絡処理を開始してから音声通話を実行するまでの間は、ビープ音、合成音声により利用者に知らせる。

m. 緊急通報発信釦3の押下から音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間、または緊急通報発信釦3押下後の緊急通報連絡処理を開始してから音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間は、インジケータ照明により利用者に知らせ、緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報センターにダイヤル発信してから音声通話を実行するまでの間は、ビープ音、合成音声により利用者に知らせる。

n. 緊急通報発信釦3の押下から音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間、または緊急通報発信釦3押下後の緊急通報連絡処理を開始してから音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間は、インジケータ照明により利用者に知らせ、緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報センターに通信回線が接続してから音声通話を実行するまでの間は、ビープ音、合成音声により利用者に知らせる。

o. 緊急通報発信釦3の押下から音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間、または緊急通報発信釦3押下後の緊急通報連絡処理を開始してから音声通話処理終了までの緊急通報連絡処理を実行している間は、インジケータ照明により利用者に知らせ、緊急通報発信釦3の押下後の緊急通報センターに位置情報などのデータ転送を開始してから音声通話を実行するまでの間は、ビープ音、合成音声により利用者に知らせる。

【0030】さらに、通報処理表示手段7の動作は、次のように変更することもできる。

p. 緊急通報発信釦3押下後から緊急通報連絡処理を開始するまで、緊急通報連絡処理開始からダイヤル発信まで、ダイヤル発信から通信回線接続まで、通信回線接続から位置データなどのデータ転送処理完了まで、データ

転送処理完了から音声通話切り替えまでの各タイミングにおいて、インジケータ照明の点灯、点滅のパターン、またはビーブ音、合成音声などの鳴音パターンを変化させることにより、緊急通報連絡処理における次段階への移行を利用者に知らせる。

q. 緊急通報発信釦3押下後から通信回線接続までと、通信回線接続から音声通話切り替えまでの2段階に分けて、インジケータ照明の点灯、点滅パターン、またはビーブ音、合成音声などの鳴音パターンを変化させることにより、データ転送が正常に行われたことを利用者に知らせる。

【0031】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明の緊急通報システム端末機器は、緊急通報発信処理釦押下などの緊急通報発信時からデータ通信処理、および音声通話処理などの緊急通報連絡処理時に、緊急通報連絡状態であることを利用者に知らせるためのインジケータ照明、ビーブ音、合成音声などの通報処理表示手段を備えているので、利用者に緊急通報連絡処理状態であることを正しく伝達することができ、利用者の不安を取り除くことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1における緊急通報システム端末機器の構成を示すブロック図

【図2】本発明の実施の形態1における通報処理表示手段の構成を緊急通報システム端末機器の構成とともに示すブロック図

【図3】本発明の実施の形態1における通報処理表示手段の別の構成を緊急通報システム端末機器の構成とともに示すブロック図

【図4】本発明の実施の形態1における通報処理表示手段の別の構成を緊急通報システム端末機器の構成とともに示すブロック図

【図5】本発明の実施の形態1における通報処理表示手段の別の構成を緊急通報システム端末機器の構成とともに示すブロック図

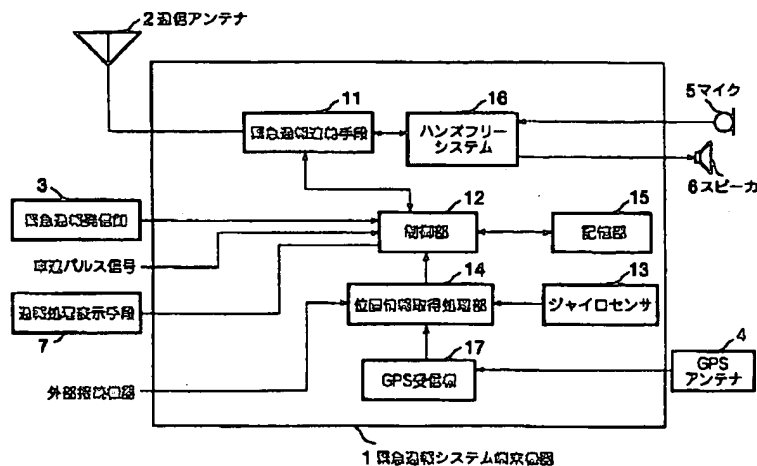
【図6】本発明の実施の形態2における通報処理表示手段の構成を緊急通報システム端末機器の構成とともに示すブロック図

【図7】本発明の実施の形態3における通報処理表示手段の構成を緊急通報システム端末機器の構成とともに示すブロック図

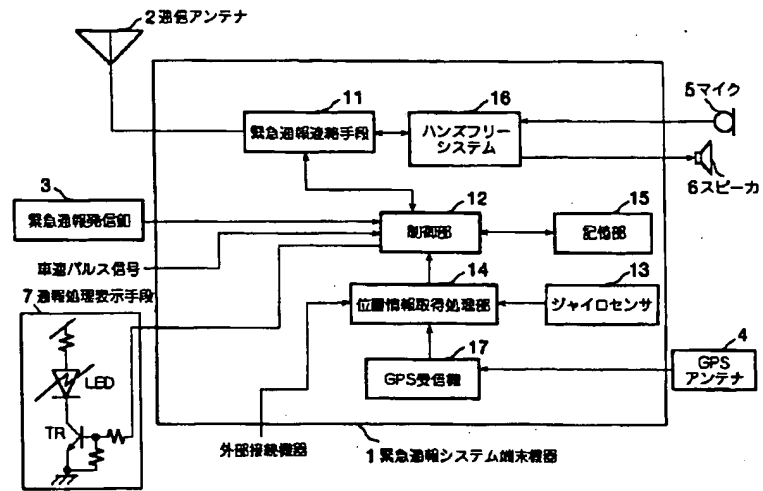
【符号の説明】

- 1 緊急通報システム端末機器
- 2 通信アンテナ
- 3 緊急通報発信釦
- 4 GPSアンテナ
- 5 マイク
- 6 スピーカ
- 7 通報処理表示手段
- 11 緊急通報連絡手段
- 12 制御部
- 13 ジャイロセンサ
- 14 位置情報取得処理部
- 15 記憶部
- 16 ハンズフリーシステム
- 17 GPS受信機
- 18 音声生成回路
- 19 音声切替回路
- 20 音声切替回路（オーディオ用）

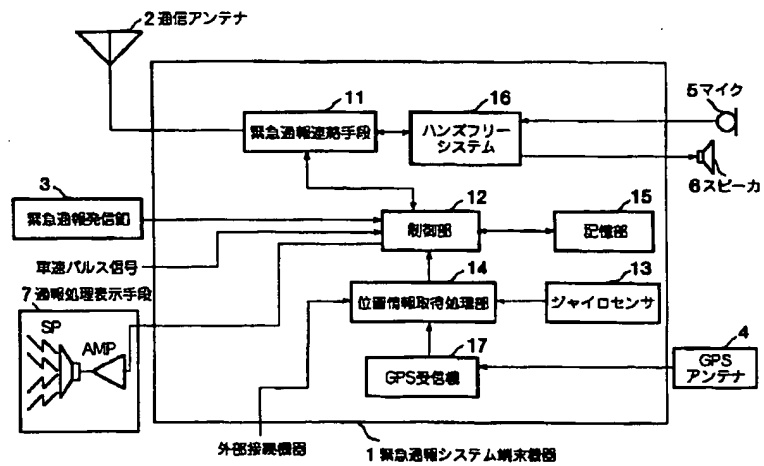
【図1】



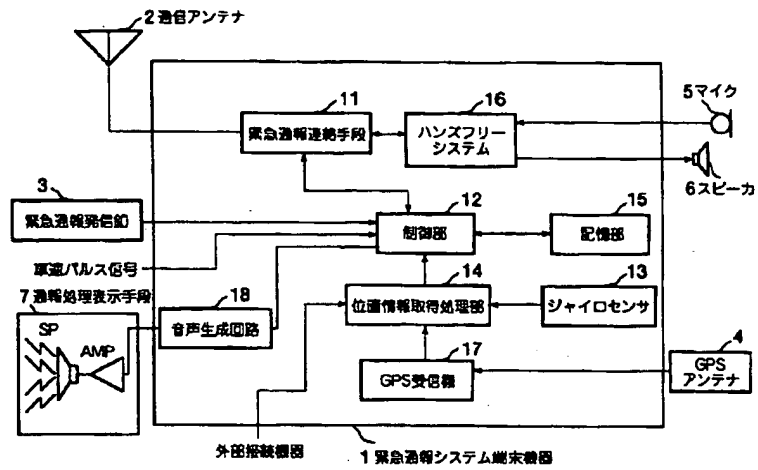
【図2】



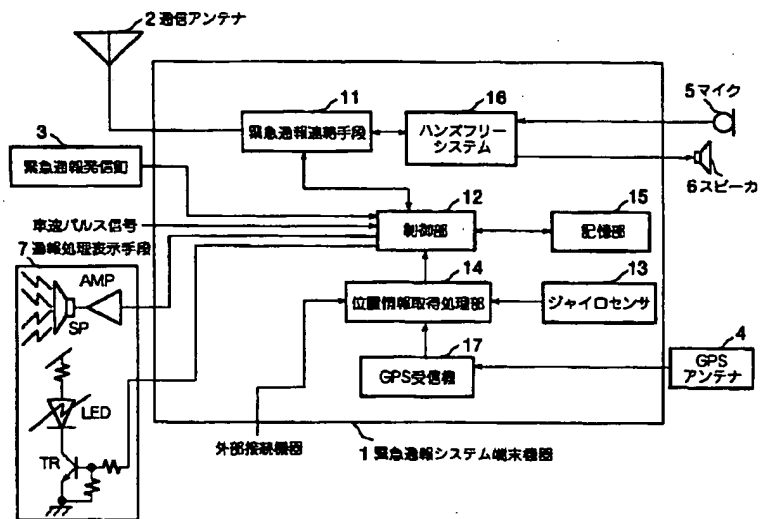
【図3】



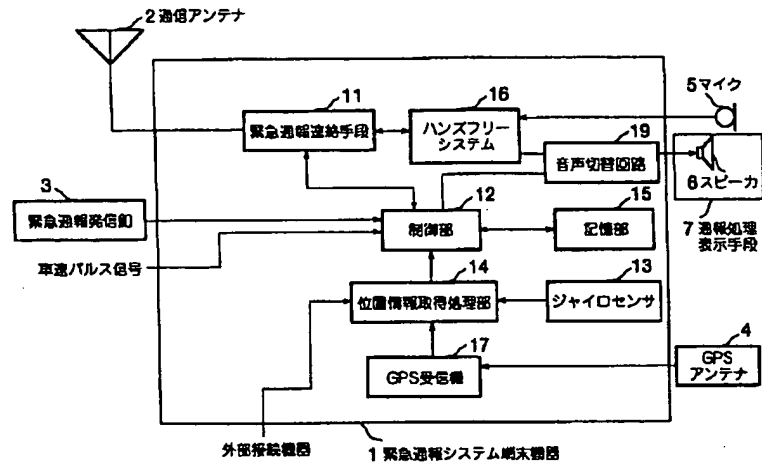
【図4】



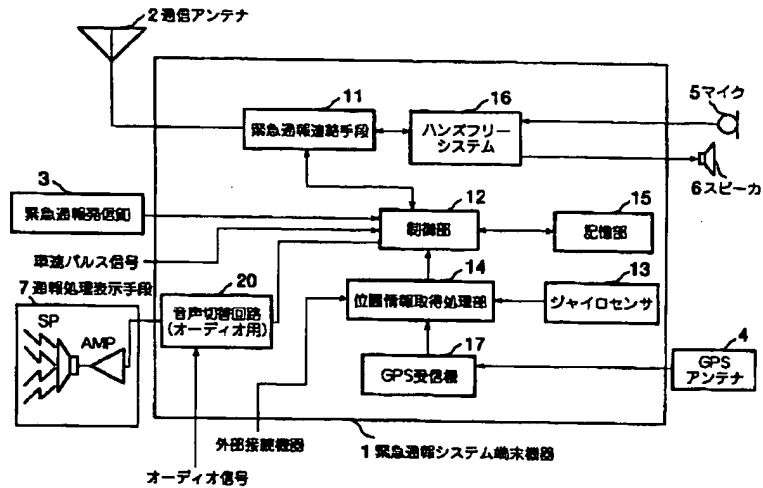
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5C087 AA12 AA23 AA32 AA40 AA42
 AA44 BB12 BB20 BB62 BB64
 BB74 DD03 DD14 EE16 EE18
 FF01 FF04 FF05 FF17 FF23
 FF30 GG23 GG55 GG66 GG70
 GG83